

エコアクション21

環境経営レポート

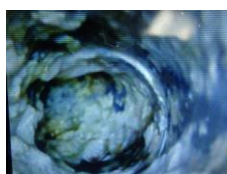
活動期間 2022年度
(2022年4月1日～2023年3月31日)



安全対策

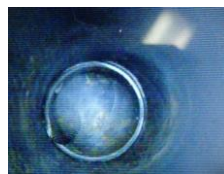


養生



排水管 洗浄前

⇒



排水管 洗浄後

- | | |
|--|-----|
| 1. 組織の概要 | P.2 |
| 2. 対象範囲 | P.2 |
| 3. 環境方針 | P.3 |
| 4. (基準年の環境負荷と)環境目標 | P.4 |
| 5. 環境経営計画、環境目標の実績及び環境活動計画の
取組結果とその評価並びに次年度の取組内容 | P.5 |
| 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無 | P.5 |
| 7. 代表者による全体評価と見直しの結果 | P.6 |

2023年4月10日発行

株式会社北川商会

1. 組織の概要

(1) 会社名及び代表者氏名

株式会社 北川商会

代表取締役社長 松田祐二

(2) 所在地

認証・登録範囲: 本社 東京都目黒区八雲4丁目11号1番地

荒川営業所 東京都荒川区西日暮里6丁目46号6番地

ラカーサヴェルデ101号室

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 **専務取締役 羽柴 康行**

担当者 経営管理部 藤江 裕美

連絡先 電話 03-3717-4500

FAX 03-3725-5837

e-mail soyama@kitagawafirm.com

(4) 事業活動の内容

給排水設備メンテナンス全般

各種施設の運営及び設備管理

(5) 事業の規模

売上高: 3億3,568万円(2022度)

	本 社	荒川営業所	各現場
	常 勤	常 勤	非常勤
従業員数(人)	9	1	10
延床面積(m ²)	158.7	22	

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

全社・全組織

(2) 認証・登録対象活動

給排水設備メンテナンス全般、各種施設の運営及び設備管理

環境管理実施体制表

作成 2021年2月15日

承認	作成
羽柴	藤江



役職	責任および権限
代表取締役社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 効果的で必要十分な実施体制の構築 7. 実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、従業員に周知する 8. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 9. 経営における課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 5. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 6. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 7. 環境関連文書及び記録の作成・整理
部門責任者	1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応

(回覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

改版履歴

版数	改定理由	改定月日	承認	作成者
1	ガイドラインに沿って社長責任及び権限に9を追加	2月15日	羽柴	藤江

3. 環境方針

株式会社 北川商会の環境経営方針

基本理念

当社は、建物保守点検・各種清掃及び洗浄作業、水回りのトータルサポート等の業務を通じ、循環社会に対応し「環境改善」に努めなければならないと認識し、地球環境保全活動の推進を図り、社会に貢献することを企業理念とする。

環境方針

1. 環境保全への取り組みを当社経営の最重要課題の一つとして位置づけます。
2. 該当する環境関連法規は遵守します。
3. 事業活動に伴う環境負荷の低減を目指し、経営における課題をチャンスと踏まえ、環境経営の継続的改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(電力使用量及び自動車燃料を削減)を実践し、省エネルギーの実践
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 節水
 - ④ オフィス用紙の削減(インターネットの活用)
 - ⑤ グリーン購入
 - ⑥ 安全・安心のサービスの提供
 - ⑦ 社員教育を強化し、新しい技術・知識の取得に努め、環境経営に寄与する能力の向上
4. 方針は社内全員に周知させます。

2020年 4月 1日制定

株式会社 北川商会

代表取締役社長 松田 祐二

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



4. 中期環境経営目標

環境経営 目標	基準年及 び実績	年度目標	中期目標		
	2014年度 (基準年)	2022年度	2022年度	2023年度	2024年度
1. CO ₂ 削減	76,309 kg-CO ₂	73,585 kg-CO ₂	73,585 kg-CO ₂	79,667 kg-CO ₂	79,667 kg-CO ₂
①電力使用 量削減 (前年実績を目標とする)	15,980kWh	14788kWh	14788kWh	14,382kWh	14,382kWh
②車燃料使 用量削減 (前年実績を目標とする)	27,917L	28,188L	28,188L	29,901L	29,901L
2. 廃棄物排 出量削減 (目標:2017から 毎年△2kg)	(一廃) 実績把握	2,036kg	2,036kg	2,060kg	2,060kg
	(産廃) 汚泥等	2,544kg	2,544kg	2,500kg	2,450kg
3. 水資源投 入量削減	301m ³	138m ³	138m ³	181m ³	181m ³
4. オフィス用紙 削減	365kg	401kg	401kg	471kg	471kg
5. グリーン 購入	グリーン化率 実績把握	21点	21点	27点	27点
6. 安全安心 サービス 提供		9%	9%	9%	9%

- * 注1. 産業廃棄物は発生するが、主に汚泥として顧客より発生するので、モニターとする
- * 注2. 4.オフィス用紙も使用量の大多数は顧客とのコミュニケーションの為に必要、従って現状維持とする
- * 注3. 電力の二酸化炭素排出係数は2022年度の東京電力の排出係数を使用
(0.376kg-CO₂/kWh)
- * 注4. 車燃料使用量も顧客に寄与するため、実績把握、前年比較とする
- * 注5. 安全安心サービス提供の数字は、弊社事業の清掃物件数に対して再作業になった割合 %

5. 環境経営計画、環境目標の実績、取組結果とその評価

環境経営計画	取組結果とその評価(2022年4月～2023年3月)			
	環境目標	実績	達成区分	評価
1. CO ₂ 削減	73,585kg-CO ₂	83,106kg-CO ₂	×	・削減が限界 ・車で移動の現場が増えた為未達成
①電力使用量削減 ・不要照明の消灯 ・エアコンの温度管理 ・LED照明への切替	14,788kWh	14,187kWh	○	・LED照明の切り替えが未完 ・在宅勤務が増え、使用量が減った
②車燃料使用量削減 ・車輛点検整備の徹底 ※実績把握のみ	28,188 L	32,813 L	×	・引き続きエコドライブ意識強化中
2-1. 一般廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底	2,036kg	1,918kg	○	・意識改革の成果が出てきた
2-2. 産業廃棄物	2,544kg	12,320kg	×	・引き続き汚泥中の水を減らす
3. 水使用量削減 ・節水の呼び掛け	138m ³	139m ³	×	・引き続き節水を呼び掛ける
4. オフィス用紙の削減 ・裏紙の利用推進 ※実績把握のみ	401kg	411kg	×	・デジタル化の意識強化継続中
5. グリーン購入拡大	21点	33点	○	・引き続きグリーン購入を積極的に行う
6. 安全・安心サービスの提供 ・チェック用紙にて確認	9%	12%	×	・どう活用していくか相談中

○: 目標達成、×: 目標未達

注1: 産業廃棄物は発生するが、主に汚泥として顧客より発生するので、モニターとする

注2: 安全・安心のサービスの提供として、不具合件数の減少を検討中

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟及び関係当局の有無
適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、汚泥等)
毒劇法	化学物質

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

環境経営方針は適正と判断しておりますが、目標達成の項目が増加するよう一丸となり
システムの見直しを継続してほしい

(2) 見直しの結果

- ・ 全体的な活動としては、社員の環境意識も高まっており、成果の出ている部分もある
- ・ カーボンニュートラルの指摘を頂いたので、検討していく
- ・ 環境経営方針は適正と判断しているが、目標達成の項目が増加するよう一丸となり
システムの見直しを継続してほしい